

EPA メール本文 (2010年9月14日)

ENERGY STAR®製造事業者パートナーまたは他の関係者各位：

過去一年にわたり、環境保護庁（EPA：Environmental Protection Agency）は、ENERGY STAR プログラムの試験と検証に関する強化政策の策定、意見募集、実施に関し、さまざまな関係者と協力して取り組みを進めてきた。この取り組みは、消費者が確信を持てるブランドである ENERGY STAR の長所を維持するという、EPA の継続的な責務を反映するものである。

最近の数ヶ月間にEPAは、ENERGY STARプログラムへの参加を希望する認定機関（AB：accreditation body）、試験所、および認証機関（CB：certification body）に対する確定要件を公表した。EPA認可の申請書は、現在これら3種ともすべて公開されており、EPAは、審査や認可の手続を開始している。認可を受けたABの最新一覧は、www.energystar.gov/testingandverificationで見ることができる。今後さらに申請書が受け付けられ認可されるにつれて、この一覧にAB、試験所、およびCBが追加されることになる。EPAは、試験と検証のプログラム強化の実施成功において、これら各機関が重要な役割を担っていると認識しており、幅広い参加を促すために可能な限りの取り組みをすべて実施している。

EPA は、本年末までに ENERGY STAR プログラムに関してこれらの強化政策を実施することに、引き続き責任をもって取り組む。我々は、ENERGY STAR パートナーの責務に対する修正をもって、強化政策の実施を有効化させる意向である。本書の目的を以下に記す。

- 第三者認証プログラムへの参加と認定試験所における製品試験に関する要件を定めた、ENERGY STAR パートナーの責務に対する修正に関し、意見を共有し、意見を募集する。
- 第三者機関による解釈や適用が容易になるように、多くの ENERGY STAR 製品区分について製品基準を若干修正する。
- 一部の限定された製品については、製品基準への実施的かつ技術的な説明の追加を提案し、この機会を利用して、同時にこれら両案件に対する関係者の意見を求める。

ENERGY STARパートナーの責務に対する修正案

EPA は、第三者認証と認定を受けた試験所の利用に特化した要件を追加した。家電製品について、EPA は、他のすべての製品区分と一致するように、機器出荷データの年次報告に関する要件を追加した。最後に、読みやすさを改善するため、EPA は、当該文書を再構成し、関連項目を集約した。

ENERGY STAR製品基準に対する修正案

明確で有効な製品の適合手続を策定するという EPA の責務の一環として、適合基準と試験方法を含む製品基準への限定的な精緻化や構成変更が、多くの製品について提案された。これら変更は、以下のように特徴付けられる。

- 「製品群（ファミリー）」定義が無い製品区分については、製品群の定義が追加された。
- 基準発効日および、有効数字と端数処理に関する文言が標準化された。
- 製品種類にわたり一貫性のある構成が適用された。

より使いやすくするために、EPA は、ENERGY STAR 製品基準を再構成し、試験方法と性能要件をより明確かつ矛盾無く区別した。この再構成は試験方法の実質的な変更を伴うものではなく、製品の再試験あるいは、特定の ENERGY STAR 試験方法に対して既に認定されている試験所の再認定は、必要とされない。

EPAおよび関係者が基準改定に現在関与している、あるいは間もなく参加する予定である場合、EPAは、上記の修正案を基準改定作業に組み入れている。製品基準の改定草案は、EPAによる策定に合わせて、www.energystar.gov/productdevelopmentに掲載される予定である。EPAは現在、これら製品のパートナーの責務について改定を提案しており、追加の検討時間をパートナーに与えている。この方針は、セットトップボックス (STB)、暖房炉、電球型蛍光灯、装飾用線状照明、一体型LED電球、家庭用照明器具、および半導体照明器具に適用される。またEPAは、窓、扉、および天窓に関して、パートナーの責務のみの改定を提案している。

なお、デジタル-アナログ変換器 (DTA : Digital to Analog Converter)、外部電源装置 (EPS : External Power Supply)、および外部電源装置を使用する最終使用製品については、2010 年末までに廃止 (すなわち、基準とラベル表示の一時停止) することが提案あるいは決定されているため、EPA はこれら製品基準への修正を提案していない。

ENERGY STAR製品基準に対する実質的な明確化の提案

限定された品目において、EPA は、この機会を利用して関係者の質問または懸念に対処することを考え、製品基準に対する若干の変更を提案した。

製品別の特筆すべき追加説明案の概要は以下のとおり。

製品種類	追加説明
コンピュータ	プロキシ機能を有する製品に対する評価方法案。 内部電源装置の力率やハードドライブ要件の適切な適用方法の説明。 ゲーム機要件を独立した基準に移行させる計画。
テレビ	ダウンロード取得モード (Download Acquisition Mode) に関する CEA 試験方法の利用の確定。 電力オーバーハングに対する方針案。
窓、扉、天窓	サッシ交換キット (サッシバック) は、ENERGY STAR の対象外であるという明確な文言の追加。
中央管理式空調機器および空気熱源ヒートポンプ	模擬評価に使用される代替評価方法 (ARM : Alternate Rating Method) に関する DOE の承認の必須化。
音響/映像機器	自動電力低減 (APD : Auto Power Down) 定義の適切な解釈に関する明確な文言の追加。

すべての関係者に、影響を受けるすべての製品区分の改定されたパートナーの責務と製品基準を配信する代わりに、EPAは、変更案を明示させたこれらの文書を、www.energystar.gov/testingandverificationから入手できるようにしている。

EPA は、これら文書に対する意見を歓迎する。意見は 2010 年 10 月 1 日までに、ENERGYSTARVerificationProgram@energystar.gov宛に提出すること。EPAは、すべての意見を慎重に検討し、パートナーの責務と製品基準の確定版を 2010 年 10 月中旬までに配布する予定である。これら文書が確定した後、パートナーは、改定されたパートナーの責務に準じたEPAとのパートナーシップ継続の意思を確認する、簡単な手続を行うことが求められる。

EPA は、貴方のパートナーシップに感謝すると共に、我々が本プログラムの整合性を強化し、ENERGY STAR が引き続き節約を実現するために消費者が求め信頼するマークであることを確実にする際に、貴団体と継続して連携できることを期待している。

ENERGY STAR への継続的な支援に感謝する。

Sincerely

Ann Bailey, Chief
ENERGY STAR Labeling Branch
US Environmental Protection Agency